平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場会社名　株式会社 大戸屋　　上場取引所　JQ
コード番号　2705　URL　http://www.ootoya.com
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）三森 久実
問合せ先責任者　（役職名）取締役経営企画部長　（氏名）濱田 寛明　TEL 03-5206-7500
四半期報告書提出予定日　平成21年2月13日

（百万円未満切捨て）

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績（平成20年4月1日～平成20年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	13,178	—	244	—	217	—	26	—
20年3月期第3四半期	12,898	6.8	500	△2.3	477	△4.0	200	△4.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	5.26	—
20年3月期第3四半期	39.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	7,046	2,210	27.5	379.84
20年3月期	6,596	2,420	31.6	408.79

（参考）自己資本　21年3月期第3四半期 1,937百万円　20年3月期 2,084百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
（基準日）	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	20.00	20.00
21年3月期	—	—	—	———	———
21年3月期（予想）	———	———	———	20.00	20.00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無

3. 平成21年3月期の連結業績予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,850	4.1	340	△44.0	300	△48.0	30	△85.6	5.88

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　無
新規　— 社（社名　　）　除外　— 社（社名　　）

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
① 会計基準等の改正に伴う変更　有
② ①以外の変更　無
（注）詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）
① 期末発行済株式数（自己株式を含む）　21年3月期第3四半期 5,100,000株　20年3月期 5,100,000株
② 期末自己株式数　21年3月期第3四半期 —株　20年3月期 —株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）　21年3月期第3四半期 5,100,000株　20年3月期第3四半期 5,100,000株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

・定性的情報・財務諸表等

1.　連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の金融不安に端を発した世界的な景気減速に加え、国内では急激な円高による輸出企業の業績悪化、製造業を中心とした生産調整や雇用調整が広がり、実体経済が急速に悪化して参りました。

外食産業におきましても、国内外の景況感の悪化により消費者の生活防衛意識が強まり、外食への支出を控えるといった傾向も見られ、引続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、国内におきましては、引続き直営店舗の新規出店を抑制し、改装等による既存店舗の活性化を図るとともに、フランチャイズ（ＦＣ）事業の拡大に注力して参りました。また、海外におきましては、タイ王国及び台湾における事業展開に鋭意取組むとともに、インドネシア共和国における海外ＦＣ展開をスタートさせ、且つ、連結子会社による香港第１号店の出店を果たしました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高は13,178百万円となりましたが、原材料費及び物流費の上昇、並びに、店舗に係る人件費を主なものとする販管費の高止まりにより、営業利益244百万円、経常利益217百万円となり、国内における既存店舗の改装等に係る固定資産除却損75百万円及び店舗閉鎖損失21百万円等を特別損失に計上したため、四半期純利益は26百万円となりました。

（事業の種類別セグメントの業績）

① 飲食事業

飲食事業は、徹底した品質の向上と、安全・安心でお値打ち感の高い商品の提供に注力するとともに、外食企業として、食と健康に関する知識の取得を目指し、全社的な「食育」への取組みを推進して参りました。

店舗展開につきましては、国内においては、直営店３店舗（おとや熱海店、ロックタウン山梨中央店、ララガーデン川口店）の新規出店と、ＦＣ店２店舗（ＵＮＩＭＯちはら台店、阪奈菅原店）の譲受けがありましたが、直営既存店７店舗（ビビットスクエア南船橋店、小田急町田北口店、羽村店、青山学院大学前店、上野中通り店、川口樹モール店、神楽坂店）を閉店しております。

海外展開につきましては、 BETAGRO OOTOYA (THAILAND) CO., LTD.（連結子会社）が、タイ王国バンコク市内に２店舗（ラチャヨーティン店、ジャムチェリー店）を新規に出店し、また、台灣大戸屋股份有限公司（連結子会社）が、高雄市内に１店舗（高雄大遠百店）及び台北市内に１店舗（微風台北車站店）の合計２店舗を新規に出店しております。更に、香港大戸屋有限公司（連結子会社）は、香港における第１号店（太古店）を出店致しました。

これにより、当第３四半期連結会計期間末における飲食事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」123店舗、「おおとや厨房」２店舗、「おとや」２店舗、「OOTOYA's Kitchen」１店舗、「海外店舗」22店舗（タイ王国13店舗、台湾８店舗、香港１店舗）の総計150店舗となりました。

以上の結果、飲食事業の当第３四半期連結累計期間の売上高は10,795百万円、営業利益は377百万円となりました。

② フランチャイズ事業

フランチャイズ事業は、「大戸屋ごはん処」12店舗（イオン読谷ショッピングセンター店、富士吉田店、松前店、センター南駅前ａｕｎｅ店、笹塚駅前店、ゆめタウン出雲店、北見店、福井店、松江サティ

店、イオン日吉津ショッピングセンター店、イーアスつくば店、フォレオ大津一里山店）の新規出店と４店舗（岐阜美濃加茂店、各務原店、清田店、豊岡店）の閉店に加え、上記の通り２店舗の譲渡があったため、当第３四半期連結会計期間末におけるフランチャイズ事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」82店舗となりました。

また、当第３四半期連結累計期間において、インドネシア共和国におけるフランチャイズ事業として、６月に第１号店（スナヤンシティ店）がオープン致しました。

以上の結果、フランチャイズ事業の当第３四半期連結累計期間の売上高は2,382百万円、営業利益は198百万円となりました。

（所在地別セグメントの業績）

① 日本

日本においては、直営店３店舗の新規出店とＦＣ店２店舗の譲受けに対し、直営既存店７店舗の閉店がありましたが、フランチャイズ加盟店舗の増加によるロイヤルティ収入等の増加により、日本における売上高は11,854百万円、営業利益は686百万円となりました。

② アジア

アジアにおいては、タイ王国２店舗、台湾２店舗及び香港１店舗の新規出店があったことに加え、既存店舗の売上高が増加したことを要因として、アジアにおける売上高は1,323百万円、営業利益は0百万円となりました。

（海外売上高）

当第３四半期連結累計期間において、アジアにおける海外売上高が1,324百万円となり、連結売上高の10.1％となりました。

2.　連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第３四半期連結会計期間末の流動資産は、現金及び預金1,301百万円を主なものとして2,183百万円（前連結会計年度末比10.9％増）、また、固定資産は、店舗等の有形固定資産2,984百万円及び敷金及び保証金1,377百万円を主なものとして4,862百万円（同5.1％増）であり、資産合計では7,046百万円（同6.8％増）となりました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末の流動負債は、借入金2,334百万円、買掛金612百万円及び未払金543百万円を主なものとして3,748百万円（前連結会計年度末比9.0％増）、固定負債は、長期借入金620百万円を主なものとして1,087百万円（同47.3％増）であり、負債合計では4,836百万円（同15.8％増）となりました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末の純資産は2,210百万円となり、自己資本比率は27.5％となりました。

3.　連結業績予想に関する定性的情報

平成21年３月期の連結業績予想につきましては、国内外の経済環境等の急激な変化等により引続き厳しい環境ではありますが、現時点では平成20年11月７日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

4.　その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会　平成18年７月５日　企業会計基準第９号）を第１四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響はありません。

③リース取引に関する会計基準等の適用

「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準委員会　平成５年６月17日　最終改正平成19年３月30日　企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会　平成６年１月18日　最終改正平成19年３月30日　企業会計基準適用指針第16号）を第１四半期連結会計期間から早期適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第３四半期連結累計期間のリース資産がそれぞれ有形固定資産の「その他」に76,854千円、無形固定資産の「その他」に19,510千円計上されていますが、損益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

④連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（企業会計基準委員会　平成18年５月17日　実務対応報告第18号）を第１四半期連結会計期間から適用しております。

なお、これによる影響はありません。

5.【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成20年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成20年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,301,754	1,110,806
売掛金	298,937	321,123
原材料及び貯蔵品	41,134	41,460
その他	552,273	494,760
貸倒引当金	△10,711	－
流動資産合計	2,183,388	1,968,150
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,368,294	2,412,828
その他（純額）	616,675	375,920
有形固定資産合計	2,984,970	2,788,748
無形固定資産		
のれん	6,150	12,850
その他	54,464	38,901
無形固定資産合計	60,614	51,752
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,377,492	1,418,347
その他	439,580	369,938
投資その他の資産合計	1,817,072	1,788,285
固定資産合計	4,862,657	4,628,786
資産合計	7,046,045	6,596,936
負債の部		
流動負債		
買掛金	612,647	610,373
短期借入金	1,689,050	1,330,000
1年内返済予定の長期借入金	645,313	585,836
未払金	543,366	543,549
未払法人税等	14,249	89,861
賞与引当金	19,995	19,394
店舗閉鎖損失引当金	18,247	61,691
その他	205,510	197,216
流動負債合計	3,748,380	3,437,922
固定負債		
長期借入金	620,798	344,844
退職給付引当金	136,822	125,521
負ののれん	17,206	20,647
その他	312,796	247,453
固定負債合計	1,087,622	738,467
負債合計	4,836,003	4,176,389

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成20年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成20年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	467,200	467,200
資本剰余金	385,400	385,400
利益剰余金	1,130,663	1,205,840
株主資本合計	1,983,263	2,058,440
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△46,054	26,413
評価・換算差額等合計	△46,054	26,413
少数株主持分	272,832	335,692
純資産合計	2,210,041	2,420,546
負債純資産合計	7,046,045	6,596,936

(2)【四半期連結損益計算書】
【第３四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年12月31日）
売上高	13,178,253
売上原価	4,959,345
売上総利益	8,218,908
販売費及び一般管理費	7,974,756
営業利益	244,151
営業外収益	
受取利息	1,624
受取配当金	1
協賛金収入	16,927
その他	17,337
営業外収益合計	35,890
営業外費用	
支払利息	43,082
持分法による投資損失	933
為替差損	18,201
営業外費用合計	62,217
経常利益	217,825
特別損失	
固定資産除却損	75,953
店舗閉鎖損失	21,903
店舗閉鎖損失引当金繰入額	6,357
その他	31
特別損失合計	104,244
税金等調整前四半期純利益	113,580
法人税、住民税及び事業税	21,168
法人税等調整額	59,388
法人税等合計	80,556
少数株主利益	6,200
四半期純利益	26,822

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	113,580
減価償却費	380,454
貸倒引当金の増減額（△は減少）	10,711
賞与引当金の増減額（△は減少）	1,368
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	△43,443
退職給付引当金の増減額（△は減少）	11,300
受取利息及び受取配当金	△1,625
支払利息	43,082
持分法による投資損益（△は益）	933
固定資産売却損益（△は益）	31
固定資産除却損	59,525
店舗閉鎖損失	38,331
売上債権の増減額（△は増加）	22,185
たな卸資産の増減額（△は増加）	△778
前払費用の増減額（△は増加）	△11,707
未収入金の増減額（△は増加）	△6,664
仕入債務の増減額（△は減少）	10,198
未払金の増減額（△は減少）	△1,032
未払費用の増減額（△は減少）	△18,825
未払消費税等の増減額（△は減少）	12,702
その他	△58,808
小計	561,519
利息及び配当金の受取額	1,110
利息の支払額	△43,151
法人税等の支払額	△101,190
営業活動によるキャッシュ・フロー	418,288
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△10,000
貸付けによる支出	△9,988
貸付金の回収による収入	8,150
投資有価証券の取得による支出	△45,005
有形固定資産の取得による支出	△665,570
有形固定資産の売却による収入	49
無形固定資産の取得による支出	△2,654
長期前払費用の取得による支出	△28,199
敷金及び保証金の差入による支出	△60,438
敷金及び保証金の回収による収入	50,468
その他	△49,863
投資活動によるキャッシュ・フロー	△813,051
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	2,540,710
短期借入金の返済による支出	△2,181,000
長期借入れによる収入	881,750
長期借入金の返済による支出	△529,917
リース債務の返済による支出	△10,090
配当金の支払額	△101,109
財務活動によるキャッシュ・フロー	600,342
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24,632
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	180,947
現金及び現金同等物の期首残高	1,006,806
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,187,754

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第３四半期連結累計期間（自　平成20年４月１日　至　平成20年12月31日）

	飲食事業（千円）	フランチャイズ事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	10,795,551	2,382,701	13,178,253	―	13,178,253
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	10,795,551	2,382,701	13,178,253	―	13,178,253
営業利益	377,577	198,665	576,954	(332,091)	244,151

（注）１　事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

２　各区分の主な製品

(1) 飲食事業・・・・・・・・・・・一般消費者に対する定食、弁当及び惣菜の販売事業

(2) フランチャイズ事業・・・・・フランチャイズ加盟店の募集及び加盟店の経営指導事業

【所在地別セグメント情報】

当第３四半期連結累計期間（自　平成20年４月１日　至　平成20年12月31日）

	日本（千円）	アジア（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	11,854,884	1,323,369	13,178,253	―	13,178,253
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	177,958	―	177,958	(177,958)	―
計	12,032,842	1,323,369	13,356,211	(177,958)	13,178,253
営業利益	686,729	659	687,388	(443,236)	244,151

（注）１　国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

２　本邦以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

アジア・・・・・タイ王国、台湾、香港

【海外売上高】

当第３四半期より、海外売上高が連結売上高の10％を超えたため、海外売上高を記載しております。

当第３四半期連結累計期間（自　平成20年４月１日　至　平成20年12月31日）

	アジア	計
Ⅰ　海外売上高（千円）	1,324,681	1,324,681
Ⅱ　連結売上高（千円）	―	13,178,253
Ⅲ　連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	10.1	10.1

（注）１　国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

２　本邦以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

アジア・・・・・タイ王国、台湾、香港 等

３　海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考】

（要約）前四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 （平成20年３月期 第３四半期） 金額（百万円）
Ⅰ　売上高	12,898
Ⅱ　売上原価	4,662
売上総利益	8,236
Ⅲ　販売費及び一般管理費	7,736
営業利益	500
Ⅳ　営業外収益	23
Ⅴ　営業外費用	47
経常利益	477
Ⅵ　特別利益	34
Ⅶ　特別損失	131
税金等調整前四半期純利益	379
税金費用	165
少数株主利益	13
四半期純利益	200